

過去のイベント・刊行物一覧

● 地球研国際シンポジウム 開催実績

	テーマ	開催日	場所
第1回	水と人間生活	2006年11月6日-8日	国立京都国際会館
第2回	緑のアジア—その過去、現在、未来	2007年10月30日-31日	メルパルク京都
第3回	島の未来可能性:固有性と脆弱性を越えて	2008年10月22日-23日	地球研講演室
第4回	境界のジレンマ—新しい流域概念の構築に向けて	2009年10月20日-22日	地球研講演室
第5回	多様性の過去と未来	2010年10月13日-15日	地球研講演室
第6回	人間社会の未来可能性	2011年10月26日-28日	地球研講演室

● 地球研フォーラム 開催実績

	テーマ	開催日	場所: 国立京都国際会館
第1回	地球環境学の課題—統合理解への道	2002年 5月17日	
第2回	地球温暖化—自然と文化	2003年 6月13日	
第3回	もし生き物が減っていくと—生物多様性をどう考える	2004年 7月10日	
第4回	断ち切られる水	2005年 7月 9日	
第5回	森は誰のものか?—森と人間の共生を求めて	2006年 7月 8日	
第6回	地球環境問題としての「食」	2007年 7月 7日	
第7回	もうひとつの地球環境問題—会うことのない人たちとともに	2008年 7月 5日	
第8回	よく生きるための環境—エコヘルスをデザインする	2009年 7月 5日	
第9回	私たちの暮らしのなかの生物多様性	2010年 7月10日	
第10回	足もとの水を見つめなおす	2011年 7月 3日	

● 地球研市民セミナー 開催実績

	テーマ	開催日	講演者
第1回	シルクロード地域のロマンと現実	2004年11月 5日	中尾正義(地球研教授)
第2回	琵琶湖の水環境を守るには—琵琶湖流域での研究活動から	2004年12月 3日	谷内茂雄(地球研助教授) 中野孝教(地球研教授)
第3回	亜熱帯の島・西表の自然と暮らし	2005年 2月 4日	高相徳志郎(地球研教授) 他
第4回	21世紀をむかえた世界の水問題	2005年 3月 4日	鼎信次郎(地球研助教授)
第5回	地球温暖化、ホント? ウソ?	2005年 4月 1日	早坂忠裕(地球研教授)
第6回	地球温暖化と地域の暮らし・環境—トルコの水と農から	2005年 6月 3日	渡邊紹裕(地球研教授) 他
第7回	鴨川と黄河—その災いと恵み	2005年 9月 2日	福島義宏(地球研教授)
第8回	東南アジアの魚と食	2005年10月 7日	秋道智彌(地球研教授)
第9回	生き物の豊かな森は持続的な社会に必要である	2005年12月 2日	中静 透(地球研教授)
第10回	環境の物語り論—環境の質と環境意識	2006年 2月 3日	吉岡崇仁(地球研助教授)
第11回	アムール川・オホーツク海・知床—巨大魚付林という考え	2006年 3月 3日	白岩孝行(地球研助教授)
第12回	モンスーンアジアからシルクロードへ—ユーラシア環境史事始	2006年 4月14日	佐藤洋一郎(地球研教授)
第13回	どうなる日本の自然? どうなる日本の国土?	2006年 6月 9日	湯本貴和(地球研教授)
第14回	なぜインダス文明は崩壊したのか	2006年 9月22日	長田俊樹(地球研教授)
第15回	大地の下の「地球環境問題」	2006年10月20日	谷口真人(地球研助教授)
第16回	「景観」は生きている	2006年12月 1日	内山純蔵(地球研助教授)
第17回	病気もいろいろ—人の医者、環境の医者	2007年 3月 9日	川端善一郎(地球研教授) 奥宮清人(地球研助教授)
第18回	シルクロード—人と自然のせめぎあい	2007年 4月20日	窪田順平(地球研准教授)
第19回	途上国農村のレジリエンスを考える	2007年 5月25日	梅津千恵子(地球研准教授)
第20回	鎮守の森は原始の照葉樹林の生き残りか?	2007年 9月21日	小椋純一(京都精華大学教授) 湯本貴和(地球研教授)
第21回	京都の世界遺産—上賀茂の杜からのメッセージ	2007年10月12日	村松晃男(上賀茂神社権禰宜) 秋道智彌(地球研副所長・教授)
第22回	生きものにとって自然の森だけが大切なのか?—熱帯と温帯の里山	2007年11月 9日	阿部健一(京都大学地域研究統合情報センター准教授) 市川昌広(地球研准教授)
第23回	地域・地球の環境—市民の役割・研究者の責任	2008年 2月15日	石田紀郎(京都学園大学教授) 渡邊紹裕(地球研教授)
第24回	黄河と華北平原の歴史	2008年 3月14日	木下鉄矢(地球研教授) 福島義宏(地球研教授)

第25回	マレーシア熱帯林とモンゴル草原の大自然と環境破壊	2008年 4月18日	酒井章子(地球研准教授) 藤田 昇(京都市大学生態学研究センター助教) 山村則男(地球研教授)
第26回	地球環境の変化と健康——人々のライフスタイルを変えるには	2008年 5月16日	門司和彦(地球研教授) 奥宮清人(地球研准教授)
第27回	捕鯨論争——21世紀における人間と野生生物の関わりを考える	2008年 9月19日	星川 淳(NPO 法人グリーンピース・ジャパン 事務局長) 秋道智彌(地球研副所長・教授)
第28回	年輪年代学——過去から未来へ	2008年10月17日	光谷拓実(地球研客員教授) 佐藤洋一郎(地球研副所長・教授)
第29回	厳寒のシベリアに暮らす人々と温暖化	2008年11月21日	井上 元(地球研教授) 高倉浩樹(東北大学東北アジア研究セン ター准教授)
第30回	里山・里海から SATOYAMA SATOUMI へ	2009年 1月23日	あん・まくどなど(国連大学高等研究所いしか わ・かなざわオペレーティング・ユニット所長) 阿部健一(地球研教授)
第31回	南極から地球環境がよく見える	2009年 3月13日	中尾正義(人間文化研究機構理事) 斎藤清明(地球研教授)
第32回	石油資源がなくなったとき、どうやって生活していきますか？	2009年 4月17日	嶋田義仁(名古屋大学大学院文学研究科教授) 縄田浩志(地球研准教授)
第33回	世界の水、日本の水——21世紀の日本の役割	2009年 6月19日	竹村公太郎(日本水フォーラム事務局長・財 団法人リバーフロント整備センター理事長) 渡邊紹裕(地球研教授)
第34回	万物共存の哲学——環境思想としての朱子学	2009年 9月11日	木下鉄矢(地球研教授) 鞍田 崇(地球研プロジェクト上級研究員)
第35回	中国の環境問題——国際的民間協力の役割と可能性	2009年10月16日	高見邦雄(認定NPO 法人緑の地球ネット ワーク事務局長) 窪田順平(地球研准教授)
第36回	現代インドの経済発展と環境問題	2009年12月18日	ヴィカース・スワループ(駐大阪神戸インド 総領事) 長田俊樹(地球研教授)
第37回	地球温暖化と水	2010年 2月16日	真鍋淑郎(プリンストン大学大気海洋研究 プログラム上級研究員) 阿部健一(地球研教授)
第38回	キョウト遺産 vs. シンヤ遺産——まちの力を未来につなげる	2010年 4月16日	中川 理(京都工芸繊維大学教授) 村松 伸(地球研教授)
第39回	ねんてんさんに訊く「俳句と環境問題」	2010年 6月18日	坪内稔典(佛教大学教授) 阿部健一(地球研教授)
第40回	石油資源がなくなったとき、どうやって生活していきますか？——その2	2010年 9月17日	鷹木恵子(桜美林大学教授) 石山 俊(地球研プロジェクト研究員)
第41回	神話から学ぶ人間と自然とのありかた ポップ・サムさんによるストーリーテリング	2010年11月30日	ポップ・サム(アラスカ・クリンギット族) 羽生淳子(地球研招へい研究員/カリフォル ニア大学バークリー校准教授)
第42回	水俣に学ぶ——公害から地球環境問題へ	2011年 2月15日	原田正純(元熊本学園大学教授) 門司和彦(地球研教授) 阿部健一(地球研教授)
第43回	東日本大震災——被災者主体の復興への道筋	2011年 5月19日	室崎益輝(関西学院大学災害復興制度研究 所所長) 窪田順平(地球研准教授)
第44回	地球環境学へのいざない——研究の裏舞台	2011年 8月 5日	谷口真人(地球研教授) 渡邊三津子(地球研プロジェクト研究員) 榎林啓介(地球研プロジェクト上級研究員)
第45回	石油資源がなくなったとき、どうやって生活していきますか？——その3	2011年 9月 9日	大沼洋康(国際耕種株式会社代表取締役) 中西昭雄(中西木材株式会社代表取締役) 縄田浩志(地球研准教授) 石山 俊(地球研プロジェクト研究員)



第43回地球研市民セミナー「東日本大震災——被災者主体の復興への道筋」

過去のイベント・刊行物一覧

● 地球研キッズセミナー 開催実績

	テーマ	開催日	講演者
第1回	恐竜は生きています！ カエルは人間のご先祖さま？ 絶滅した生き物とわたしたち	2010年 8月23日	富田京一(肉食爬虫類研究所代表) 縄田浩志(地球研准教授)
第2回	熱帯雨林の不思議な生き物たち	2011年 8月 5日	湯本貴和(地球研教授)

● 地球研オープンハウス 開催実績

	開催日	場所
2011年度 地球研オープンハウス	2011年 8月 5日	地球研

● 地球研地域連携セミナー 開催実績

	テーマ	開催日	場所
第1回	雪と人——くらしをささえる日本海	2005年 9月17日	富山県富山市
第2回	火山と水と食：鹿児島を語る！	2006年 9月18日	鹿児島県鹿児島市
第3回	伊豆の、花と海。——伊東から考える地球環境	2007年 9月15日	静岡県伊東市
第4回	災害と「しのぎの技」——池島・福万寺遺跡が語る農業と環境の関係史	2008年11月 8日	大阪府和泉市
第5回	やんばるに生きる——自然・文化・景観のゆたかさを育む地域と観光	2009年 2月13日 2009年 2月14日	沖縄県名護市 沖縄県国頭村
第6回	山・ひと・自然——厳しい自然を豊かに生きる	2009年11月28日	長野県松本市
第7回	にほんの里から世界の里へ	2010年 2月 6日	石川県金沢市
第8回	多様性の伝えかた——子どもたちのための自然と文化	2010年10月10日	愛知県名古屋
第9回	ユーラシアへのまなざし：ソ連崩壊20年後の環境問題	2011年 6月12日	北海道札幌市
第10回	水辺の保全と琵琶湖の未来可能性	2012年 1月14日	滋賀県大津市

● その他

地球研東京セミナー 開催実績

	テーマ	開催日	場所
第1回	人・水・地球——未来への提言	2009年10月 9日	霞山会館
第2回	(人間文化研究機構第13回公開講演会・シンポジウム) 食：生物多様性と文化多様性の接点	2010年 7月16日	有楽町朝日ホール
第3回	(人間文化研究機構第17回公開講演会・シンポジウム) 遠い森林、近い森：関係性を問う	2011年10月 7日	国立京都国際会館

日文研・地球研合同シンポジウム 開催実績

	テーマ	開催日	開催場所
第1回	山川草木の思想——地球環境問題を日本文化から考える	2008年6月21日	シルクホール
第2回	京都の文化と環境——水と暮らし	2009年5月 9日	日文研講堂
第3回	京都の文化と環境——森や林	2010年5月22日	日文研講堂
第4回	環境問題はなぜ大事か——文化から見た環境と環境から見た文化	2011年5月21日	日文研講堂

KYOTO 地球環境の殿堂

	受賞者	称号・職位等	業績
第1回	グロ・ハルレム・ブルントラント氏	元ノルウェー首相	「持続可能な開発」概念を世界に提唱
	真鍋淑郎氏	プリンストン大学上級研究員	気候変動を新たなモデルで分析し、地球科学分野で活躍
	ワンガリ・マータイ氏	2004年ノーベル平和賞	「もったいない」を環境のキーワードとして世界に広める
第2回	シグミ・シンゲ・ワンチュク陛下	ブータン王国第4代国王	「国民総幸福度」(Gross National Happiness:GNH)の概念を提唱
	原田正純氏	元熊本学園大学教授	水俣病をはじめとした公害問題の社会医学的な研究
第3回	エリノア・オストロム氏	2009年ノーベル経済学賞	コモンズ(共有資源)の理論的・実証的な研究
	クラウス・テプファー氏	先端的持続可能性研究所所長	UNEP(国連環境計画)の事務局長として、地球環境保全の具体的な施策を推進した
	レスター・R・ブラウン氏	アースポリシー研究所所長	エネルギーや人口・食料問題などに警鐘を鳴らし、地球環境問題の思想を普及させた

● 既刊刊行物

地球研叢書

タイトル	著者・編者	出版社	出版年月
生物多様性はなぜ大切か?	日高敏隆 編	昭和堂	2005年 4月
中国の環境政策 生態移民—緑の大地、内モンゴルの砂漠化を防げるか?	小長谷有紀、シンジルト、中尾正義 編	昭和堂	2005年 7月
シルクロードの水と緑はどこへ消えたか?	日高敏隆、中尾正義 編	昭和堂	2006年 3月
森はだれのものか?—アジアの森と人の未来	日高敏隆、秋道智彌 編	昭和堂	2007年 3月
黄河断流—中国巨大河川をめぐる水と環境問題	福島義宏 著	昭和堂	2008年 1月
地球の処方箋—環境問題の根源に迫る	総合地球環境学研究所 編	昭和堂	2008年 3月
食卓から地球環境がみえる—食と農の持続可能性	湯本貴和 編	昭和堂	2008年 3月
地球温暖化と農業—地域の食料生産はどうなるのか?	渡邊紹裕 編	昭和堂	2008年 3月
水と人の未来可能性—しのびよる水危機	総合地球環境学研究所 編	昭和堂	2009年 3月
モノの越境と地球環境問題—グローバル化時代の〈知産知消〉	窪田順平 編	昭和堂	2009年10月
安定同位体というメガネ—人と環境のつながりを診る	和田英太郎、神松幸弘 編	昭和堂	2010年 3月
魚附林の地球環境学—親潮・オホーツク海を育むアムール川	白岩孝行 著	昭和堂	2011年 3月
生物多様性 どう生かすか—保全・利用・分配を考える	山村則男 編	昭和堂	2011年10月
食と農の未来—ユーラシア一万年の旅	佐藤洋一郎 著	昭和堂	2012年 3月

地球研英文叢書

タイトル	著者・編者	出版社	出版年月
Island Futures	BALDACCHINO, Godfrey・NILES, Daniel 編	Springer	2011年 7月

地球研ライブラリー

タイトル	著者・編者	出版社	出版年月
クスノキと日本人—知られざる古代巨樹信仰	佐藤洋一郎 著	八坂書房	2004年10月
世界遺産をシカが喰う—シカと森の生態学	湯本貴和、松田裕之 編	文一総合出版	2006年 3月
ヒマラヤと地球温暖化—消えゆく水河	中尾正義 編	昭和堂	2007年 3月
Indus Civilization: Text and Context	長田俊樹 編	Manohar	2007年 3月
人はなぜ花を愛でるのか	日高敏隆、白幡洋三郎 編	八坂書房	2007年 3月
農耕起源の人類史	ピーター・ベルウッド 著 長田俊樹、佐藤洋一郎 監訳	京都大学 学術出版会	2008年 7月
モンスーン農耕圏のふびとと植物 (ユーラシア農耕史1)	佐藤洋一郎 監修 鞍田 崇 編	臨川書店	2008年12月
日本人と米 (ユーラシア農耕史2)	佐藤洋一郎 監修 木村栄美 編	臨川書店	2009年 3月
砂漠・牧場の農耕と風土 (ユーラシア農耕史3)	佐藤洋一郎 監修 鞍田 崇 編	臨川書店	2009年 6月
Indus Civilization: Text and Context Vol.2	長田俊樹 編	Manohar	2009年 9月
Linguistics, Archaeology and Human Past in South Asia	長田俊樹 編	Manohar	2009年 9月
さまざまな栽培植物と農耕文化 (ユーラシア農耕史4)	佐藤洋一郎 監修 木村栄美 編	臨川書店	2009年10月
農耕の変遷と環境問題 (ユーラシア農耕史5)	佐藤洋一郎 監修 鞍田 崇 編	臨川書店	2010年 1月
Current Studies on the Indus Civilization Vol. 1	長田俊樹、上杉彰紀 編	Manohar	2010年 8月
Current Studies on the Indus Civilization Vol. 2	長田俊樹、上杉彰紀 編	Manohar	2010年 8月
Current Studies on the Indus Civilization Vol. 3	長田俊樹、上杉彰紀 編	Manohar	2010年 8月
Current Studies on the Indus Civilization Vol. 4	長田俊樹、上杉彰紀 編	Manohar	2011年 7月
Current Studies on the Indus Civilization Vol. 5	DANGI, Vivek 著	Manohar	2011年 7月
Current Studies on the Indus Civilization Vol. 6	長田俊樹、上杉彰紀 編	Manohar	2011年 7月
Current Studies on the Indus Civilization Vol. 7	長田俊樹、上杉彰紀 編	Manohar	2011年 7月
Current Studies on the Indus Civilization Vol. 8 Part 1	LAW, Randall William 著	Manohar	2011年 7月
Current Studies on the Indus Civilization Vol. 8 Part 2	LAW, Randall William 著	Manohar	2011年 7月
焼畑の環境学—いま焼畑とは	佐藤洋一郎 監修 原田信男、鞍田 崇 編	思文閣出版	2011年 9月
Current Studies on the Indus Civilization Vol. 9	長田俊樹、遠藤 仁 編	Manohar	2012年 2月

地球環境学事典

タイトル	著者・編者	出版社	出版年月
地球環境学事典	総合地球環境学研究所 編	弘文堂	2010年10月

● 沿革

- 1995** (平成7年) 4月 ● 「地球環境科学の推進について」(学術審議会建議)
「地球環境問題の解決を目指す総合的な共同研究を推進する中核的研究機関を設立することを検討する必要がある。」
- 7月 ● 文部省、学術審議会建議を受け「地球環境科学の研究組織体制の在り方に関する調査研究会」を設置
- 1997** (平成9年) 3月 ● 「地球環境科学に関する中核的研究機関のあり方に関する研究報告書」(地球環境科学の中核的研究機関に関する調査研究会)
- 6月 ● 「地球環境保全に関する当面の取組」(地球環境保全に関する関係閣僚会議)
「幅広い学問分野の研究者が地球環境問題について、総合的に研究を行うことができるよう、地球環境科学の研究組織体制の整備に関する調査研究を行う。」
- 1998** (平成10年) 4月 ● 地球環境科学研究所(仮称)の準備調査を開始
- 2000** (平成12年) 3月 ● 地球環境科学研究所(仮称)準備調査委員会、人文・社会科学から自然科学にわたる学問分野を総合化し、国内外の大学、研究機関とネットワークを結び、総合的な研究プロジェクトを推進するための「総合地球環境学研究所(仮称)」の創設を提言
- 4月 ● 総合地球環境学研究所(仮称)創設調査室を設置するとともに創設調査機関に創設調査委員会を設置
- 2001** (平成13年) 2月 ● 「総合地球環境学研究所(仮称)の構想について」(最終報告)(創設調査委員会)
- 4月 ● 総合地球環境学研究所の創設
国立学校設置法施行令の一部を改正する政令(平成13年政令第151号)の施行に伴い、総合地球環境学研究所を創設し、京都大学構内において研究活動を開始。初代所長に日高敏隆が就任
- 2002** (平成14年) 4月 ● 旧京都市立春日小学校(京都市上京区)へ移転
- 2004** (平成16年) 4月 ● 大学共同利用機関の法人化に伴い、「大学共同利用機関法人 人間文化研究機構」に所属
- 2005** (平成17年) 12月 ● 新施設(京都市北区上賀茂本山)竣工
- 2006** (平成18年) 2月 ● 旧春日小学校より新施設(京都市北区上賀茂本山)へ移転
- 5月 ● 総合地球環境学研究所施設竣工記念式典を実施
- 2007** (平成19年) 4月 ● 立本成文が二代所長に就任
- 5月 ● 副所長を設置
- 10月 ● 研究推進センターを研究推進戦略センターに改組
- 2011** (平成23年) 4月 ● 創立10周年記念シンポジウムを開催

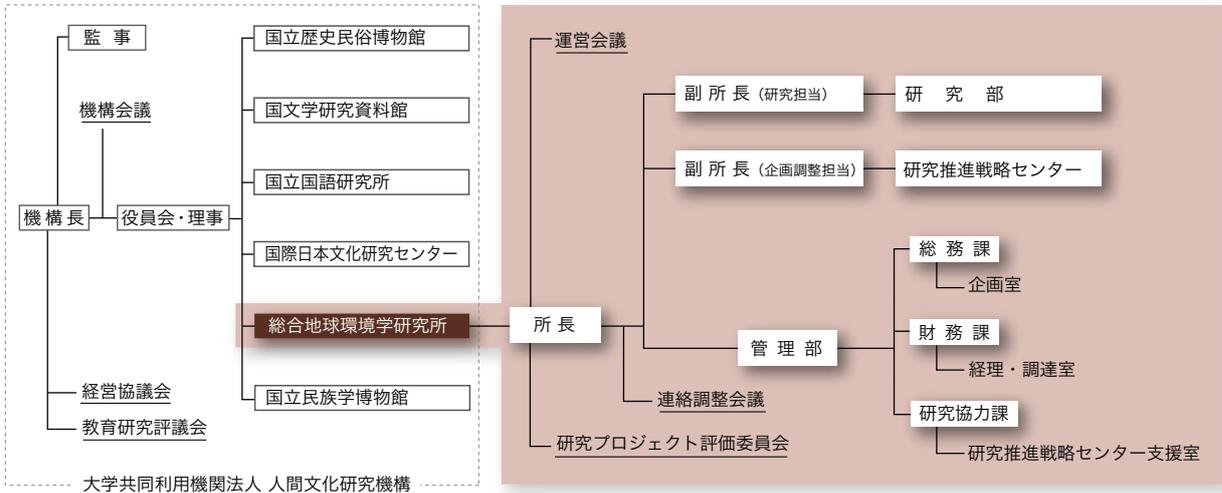


創設時の地球研(2001年4月～2002年3月)



旧春日小学校時代の地球研(2002年4月～2006年1月)

● 組織図



● 財務・外部資金等

■ 財務セグメント情報 (2010年度)

業務費用

種別	金額 (千円)
業務費	1,998,248
共同利用・共同研究経費	997,894
教育研究支援経費	63,720
受託研究費	75,692
人件費	860,941
一般管理費	180,817
財務費用	57,199

費用計 2,236,265

業務損益

業務収益

種別	金額 (千円)
運営費交付金収益	2,000,251
受託研究等収益	85,338
寄付金収益	3,842
その他	159,780

収益計 2,249,213

12,947

■ 外部資金等受入額 (2010年度)

区分	金額 (千円)
産学連携等研究費	83,045
科学研究費補助金	70,870
寄附金	20,925

※産学連携等研究費は、受託研究および共同研究経費を合算したものです。



現在の地球研(2006年2月～)

● 運営組織と役割 (2012年4月1日現在)

■ 運営会議 研究所の人事、事業計画、その他管理運営に関する重要事項について審議します。

大槻恭一	九州大学大学院農学研究院教授	嘉田良平	総合地球環境学研究所プログラム主査
川井秀一	京大大学生存圏研究所教授	窪田順平	総合地球環境学研究所プログラム主幹
小長谷有紀	国立民族学博物館民族社会研究部教授	佐藤洋一郎	総合地球環境学研究所副所長・研究推進戦略センター長
藤岡一郎	京都産業大学長	谷口真人	総合地球環境学研究所プログラム主幹
古澤 巖	鳥取環境大学長	中野孝教	総合地球環境学研究所プログラム主幹
安成哲三	名古屋大学地球水循環研究センター特任教授	門司和彦	総合地球環境学研究所プログラム主幹
鷺谷いづみ	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	渡邊紹裕	総合地球環境学研究所副所長
鷺田清一	大谷大学文学部哲学科教授		

■ 研究プロジェクト評価委員会 研究所の研究プロジェクトに関し、必要な事項を専門的に調査審議します。

(国内委員)		(海外委員)	
植田和弘	京都大学大学院経済学研究科長	BELLWOOD, Peter	Professor, School of Archaeology and Anthropology, The Australian National University, AUSTRALIA
山形俊男	東京大学大学院理学系研究科長	FU, Congbin	Director, Institute for Climate and Global Change Research, School of Atmospheric Science, Nanjing University, CHINA
横山俊夫	滋賀大学副学長	LOVEJOY, Thomas E.	President, The H. John Heinz III Center for Science, Economics and the Environment, USA
中村雅美	江戸川大学情報文化学教授 (前日本経済新聞社編集委員)	CHUN Kyung-soo	Professor, Department of Anthropology, Seoul National University, KOREA
小池勲夫	琉球大学監事・東京大学名誉教授	MCDONALD, Anne	Professor, Graduate School of Global Environmental Studies, Sophia University, JAPAN
中西久枝	同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授	RANDALL, Roland	Life Fellow, Girton College, University of Cambridge, UK
安岡善文	情報・システム研究機構監事	SCHOLZ, Roland	Professor, Natural and Social Science Interface, Institute for Environmental Decisions, Swiss Federal Institute of Technology Zurich, SWITZERLAND
鷺田清一	大谷大学文学部哲学科教授		

■ 連絡調整会議 研究所の円滑な運営を図るため、研究所の管理運営に関する重要事項を審議します。

立本成文	所長	嘉田良平	プログラム主査	中野孝教	プログラム主幹
佐藤洋一郎	副所長・研究推進戦略センター長	窪田順平	プログラム主幹	門司和彦	プログラム主幹
渡邊紹裕	副所長	谷口真人	プログラム主幹	井深順二	管理部長

※その他、研究所の業務に関して必要な事項を専門的に審議し、また、実施に当たるため、各種委員会を設置しています。

● 名誉教授等 (2012年4月1日現在)

■ 名誉教授	(称号授与年月日)	中西正義	(2008年4月1日)	■ 特別客員教授	
中西正己	(2003年4月1日)	福嶋義宏	(2008年4月1日)	木下鉄矢	
和田英太郎	(2004年8月1日)	秋道智彌	(2012年4月1日)		
日高敏隆	(2007年4月1日)	川端善一郎	(2012年4月1日)		
	(没2009年11月)				

● 所 員 (2012年4月1日現在)

■ 所 長	立本成文	■ 副所長	佐藤洋一郎 (企画調整担当) 渡邊紹裕 (研究担当)
-------	------	-------	-------------------------------

管理部 ■ 部 長 井深順二

■ 総務課		■ 財務課		■ 研究協力課	
課 長	岩阪 豊	課 長	南 健一	課 長	番場葉一
課長補佐	松尾 隆	課長補佐	藤原浩一	課長補佐	前野芳昭
総務係	係長 植村博樹 主任 原 彰子	財務企画係	係長 山形哲史 係員 本田孝之	研究協力係	係長 新野正人 係員 高取庸子
人事係	係長 住田会美 係員 貴田佳実 係員 平松直子	施設管理係	係長 梅上竜志	国際交流係	係長 徳田美紀
企画室	室長 松尾 隆 (兼任)	経理・調達室	室長 藤原浩一 (兼任)	研究推進戦略センター支援室	室長 前野芳昭 (兼任)
企画評価係	係長 西村隆利 係員 中大路悠	経理・調達第一係	係長 深尾秀正	研究推進係	係長 三原一晃 係員 辻はな子
情報係	係長 西村隆利 (兼任) 係員 中大路悠 (兼任)	経理・調達第二係	係長 深尾秀正 (兼任) 主任 村瀬真美子		

研究部

■プログラム主幹

嘉田良平 (プログラム主査・併任)
窪田順平 (併任)
谷口真人 (併任)
中野孝教 (併任)
門司和彦 (併任)

〈プログラム主幹補佐〉

酒井章子
縄田浩志
檜山哲哉

■教授

長田俊樹 (言語学)
嘉田良平 (農政学・環境経済学)
佐藤 哲 (兼務)
村松 伸 (建築史・都市史)
門司和彦 (人類生態学)
渡邊紹裕 (農業土木学)

■准教授

石川智士 (保全生態学・国際水産開発学)
内山純哉 (先史人類学)
奥宮清人 (フィールド医学)
酒井章子 (植物生態学)
田中 樹 (陸域生態系管理論)
縄田浩志 (文化人類学)
檜山哲哉 (生態水文学)

■客員教授

内堀基光 (文化人類学)
加藤 剛 (比較社会学)
川崎昌博 (大気環境化学)
小山修三 (考古学)

仲上健一 (環境経済・政策)
中島経夫 (魚類生態学)
水見山幸夫 (地理学)
山村則男 (数理生態学)

■客員准教授

梅津千恵子 (環境資源経済学)
白岩孝行 (雪氷学)
藤田 昇 (草原生態学)
村松弘一 (東洋史)

■招へい外国人研究員

GAIBALLA ADIER, Abdelaziz Karamalla
(リモートセンシング)

MOLINA, Victorio Bolanos
(公衆衛生学)

■プロジェクト上級研究員

C-07 酒井 徹 (衛星生態学)
C-07 藤原潤子 (文化人類学)
D-05 高木 映 (水産学・分子生態学)
R-04 源 利文 (分子生態学)
R-06 増田忠義 (農業資源経済学)

■プロジェクト研究員

C-07 大島和裕 (気候学・大気物理学)
C-08 林 憲吾 (東南アジア都市史・建築史)
C-08 松田浩子 (東南アジア都市史・建築史)
C-08 三村 豊 (建築史・都市史)
C-08 MEUTIA, Ami Aminah (水文学)
C-09 今川智絵 (地域環境科学)
C-09 濱崎宏則 (政策科学)
C-09 渡部慧子 (地域環境科学)

D-03 小坂康之 (民族植物学)
D-03 野瀬光弘 (森林資源管理学)
D-04 加藤聡史 (生態学)
D-04 幸田良介 (森林生態学)
D-04 高野 (竹中) 宏平 (昆虫生態・植物生態)
D-05 岡本侑樹 (システム農学)
D-05 小河久志 (人類学・東南アジア地域研究)
D-05 YAP, Minlee (サンゴ礁生態学)
R-04 蔣 宏伟 (人類生態学)
R-04 東城文柄 (地域研究・林学)
R-04 西本 太 (社会人類学)
R-04 福士由紀 (中国近代史)
R-04 吉永一未 (マラリア対策・公衆衛生学)
R-05 石山 俊 (文化人類学)
R-05 市川光太郎 (生物音響学)
R-05 中村 亮 (文化人類学)
R-06 齊藤 哲 (同位体地球化学)
R-06 矢尾田清幸 (空間計量経済学・GIS)
R-07 石本雄大 (生態人類学)
R-07 佐々木夕子 (村落開発学)
R-07 清水貴夫 (人文学)
R-07 手代木功基 (自然地理学)
R-07 宮崎英寿 (境界農学)

■プロジェクト研究推進支援員

C-07 清水宏美 R-05 HAFIZ
C-09 加藤久明 KOURA, Hafiz
C-09 小山雅美 Mohamed Fathy
D-04 北村直子 R-05 水真咲子
D-05 今村青衣 R-05 岡本洋子
R-05 王 娜 R-06 岡本高子
R-07 紀平 朋 R-07 紀平 朋
E-05 福嶋敦子

研究推進戦略センター ■ センター長 佐藤洋一郎 (併任)

■部門長

研究開発部門 谷口真人
研究推進部門 関野 樹
成果公開・広報部門 阿部健一

■基幹研究ハブ主査

窪田順平

■教授

阿部健一 (相関地域学)
窪田順平 (森林水文学)
佐藤 哲 (地域環境学・保全生態学)
佐藤洋一郎 (植物遺伝学)
谷口真人 (水文学)
中野孝教 (同位体地球環境学)

■准教授

関野 樹 (情報学)

■助教

UYAR, Aysun (国際関係論・国際政治経済)
熊澤輝一 (環境計画論・地域情報学)
NILES, Daniel (地理学)

■特任准教授

鞆田 崇 (哲学)
半藤逸樹 (地球システム科学・数理モデリング)

■特任助教

清水万由子 (環境政策・環境社会学)
内藤大輔 (東南アジア地域研究・ポリティカルエコロジー)
安富奈津子 (気象・気候学)



総合地球環境学研究所

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4

TEL 075-707-2100(代)

FAX 075-707-2106

<http://www.chikyu.ac.jp>

ISSN 2185-8047

発行 2012年4月

